

7月21日

歴史文化的史跡の保存と整備に関する特別委員会

前回(6/30)の特別委員会では、本特別委員会が出した中間提言を、政策推進部・街づくり部・生涯学習部においてどのように受け止めていただいたのか報告を受けました。

(7/12号に掲載)

7月21日特別委員会で豊芦勝子委員長は、その内容を再確認し、今後の委員会の方向性について大東副委員長から提案し協議しました。

政策推進部では、23年4月をめどに総合計画の改訂を検討中です。また、堂山古墳は、北河内地域において貴重な遺跡であり、良好な状態に古墳を復元整備することを第一義とし、市の指定文化財に指定する準備をしています。

特別委員会は、史跡指定をしている「心合寺や高塚山古墳」の視察を予定しています。

だいたい 議会報告

日本共産党
大東市議会議員団

大東市谷川1丁目1-1
議員団控室直通
TEL/FAX 871-5588

(1) 今後の方向性について

(イ) 歴史や文化・伝統の資源的価値を発掘して、大東市のレベルアップ、知名度を上げていく。

- * 生活の場の歴史遺産の発見
 - 身じかにある歴史遺産の認識
 - 伝統・文化[生活習慣・食べ物など]の再発見
 - 景観と建造物の再認識

(ロ) 歴史と文化の「トータルプラン」プロジェクトを発足させる。

[時期、体制、研修会など]

政策推進部、街づくり部、生涯学習部、文化財保存推進会、研究者、議会など。

- * 大東市史編纂
- * 3つの史跡<平野屋新田会所跡><飯盛山城跡><堂山古墳>の保存と整備活用について



[目的]を定める

- ・ 指定(市・府・国)について
- ・ 他市の状況を参考に、視察・研修会
- * 堂山古墳と葎屋北遺跡、心合寺古墳、高塚山古墳、=五世紀の渡来人の世界
- * 飯盛山城と三箇・砂・岡山・田原、=河内とキリシタンの世界=(飯盛山城に移す前の拠点 高槻市・芥川山城)
- * 3つの歴史街道<東高野街道><古提街道><河内街道>の案内板と整備活用について

- * 悉皆調査を計画的に進める
 - 大東市内に所在する史跡・名勝・天然記念物、歴史資料、民俗資料、建造物・有形文化財等の文化財。

(ハ) 四條畷市など関係市との共同・連携について

市議員
つとむ
つとむ
TEL.090-3864-5037

市議員
かつこ
かつこ
TEL.090-1079-8939

市議員
しげる
しげる
TEL.090-7099-8429

第41回全国保育団体合同研究集会、大阪市・舞洲アリーナで開幕

大雨の降る中、一万人を超える保護者・保育士・地域の人達が参加。会場に入ると熱気に包まれており「保育制度解体」はさせない勢いを感じました。

日本共産党議員団から古崎・豊芦が出席しました。

開会挨拶では、「かけがえない子ども時代をどのこも豊かに過ごせるために何が必要なのか、学びあい、共同の力でそれを求めていきましょう」と訴えがありました。



法律相談

8月3日(月)7時~
大東市民会館
※先着順です
871-5588まで

青少年キャンプ場 オープニング



大東市「たつま」のキャンプ場へ 2009年 夏!!!

7月17日(金)午後7時、青少年キャンプ場のオープニング開催。日本共産党議員団からは、とよあし・飛田が出席しました。

キャンプ場に着くと、元気のよいリーダーたちが出迎えてくれました。

式典の後、野外でゼレモノーフアイヤーを予定していたそうですが、雨が降っていることからキャンドルファイヤーに変更。

今年も、新しく53名のリーダーが暑い夏の童間の青少年キャンプ

青少年野外活動センターの利用について

お問い合わせは：アクロス一階

青少年ルーム(872 - 1337)

費用 = 日帰り、中学生以下50円

高校生以上100円

テント泊、中学生以下100円

高校生以上200円

アーチハウス泊

中学生以下200円

高校生以上300円



場で子どもたちを出迎えてくれます。ひと夏で、大きく育つリーダーと共に！毎年、毎年期待に込めてくれるオープニングです。エンディングは総選挙の投票日と重なるため、今年は8月29日に行われるそうです。さて、43日間にどんなドラマが生まれるのでしょうか。保護者の皆さん！「たつま」のキャンプ場で今年の夏を体感してください。

09年度大阪社会保障推進協議会 自治体キャラバン府下一斉行動!



7月22日午前10時〜11時45分まで、大東市役所の厚生棟B会議室にて実施されました。大阪社保協から2人、地元大東社保協から12人が参加。日本共産党から豊芦議員が参加しました。

進行は、秘書広報課の田川さん。

総務部・総務課長(田中氏) 総括次長兼人事課長(亀岡氏) 健康福祉部・福祉政策課長(伊藤氏) 生活福祉課長代理(中村氏) 総括次長兼介護保険課長(北崎氏) 障害福祉課長(村岡氏) 健康生きが課長(上柳氏) 保険年金課長(松宮氏) 次長兼保険収納課長(橋本氏) が応えました。

最初に、全体を通しての行政のあり方や事前の資料提出に対して大東市が未回答なのは何故か。不誠実ではないかと指摘がありました。保険収納課次長の橋本氏が「資料は出します」と応えました。

話し合いは、平成21年6月8日付け社会保障推進協議会の要望に基づいて進められました。特徴的な発言・対応を紹介し

を上げている。受診率の高いところを参考にしたらどうか健康問題について多数の意見がありました。



○国民健康保険問題について

○国保の値上げについては、「上げたのではなくて国基準に改正した」と収納課次長は平然と回答。

○資格証明書発行については、「資格書を発行して収納率が上がったところはどこもない」と社保協事務局長が指摘。

○どうやったら保険料が下げられるのか。どうしたら人に優しい対応が出来るのか。大東、守口、門真は構造的な問題があると思う。北河内は全国的に厳しい地域、北河内7市でまとめた意見をもつとしていただきたい。

○医療費が下がれば保険料が下がる。市民の健康問題。

○低い検診率を改善するためには、どうすればいいのか。北摂では、自己負担を無料にして検診率

(2) 介護保険問題について

○保険料減免の実施率が低いことについて指摘がありました。

○減免制度を知らないお年寄りに、分かりやすく工夫して知らせたい。4月からさかのぼってできることなど。

○「広報だいたう」に掲載すると応えました。

(3) 生活保護問題について

○大東の受給率が低いのは何故か。議論となりました。

○当局からは、就労支援、就労の中で廃止になることもある。辞退届けを強要はしていない。救い漏れのないように対応している。と応えました。